

昔々、男と女がいた。彼らにはユースフという男の子がいた。彼らはユースフを学ばせるために(学校に)出したが、彼は好ましからぬ物事に心が向き、皆が彼を呪うようになった。彼はジランガという男と仲間を組んだ。ジランガ自身も3人と仲間を組んだ。ナンティ、ムリッサティ、アンティカティである。彼らは、一緒にやるつもりはなかった事柄にも関わった。話によると、この男たちは、甚だしく敬意に欠けていた。彼らが際限のない墮落に立ち戻った時、偉大なコモロ人たちはこう言った「真実が明らかになる時には、偽りもまた現れる」。

我々がその子供に期待して、コーラン学校に行かせようとしても、彼は、子供を旅に出すことを決意するまでに母親を熟考させた教育から、海に戻った。彼女が子供に旅をさせた時に、子供は墮落に陥り、彼が共に生きる人々ではない人々と共に船に乗り込んだのだった。そのうちに、サイド・アリ・アジリという人が、彼を教育するのを助けるために、連れ戻した。この子供はその頃、自分の住んでいるところで、人の首を刎ねたり、殺したり、悪を勧めるという行いをしていたのだ。

そのような報せはすぐに彼の父親に伝えられ、彼はスルタンにそれを訴えに行き、スルタンは、そのような子供は処刑されるべきだと言った。しかし、どうやって彼を処刑するのだろうか。この子供は多くの人を殺して大金持ちになっており、掘られた井戸よりも金持ちだった。それでは、どうやって[彼を処刑]するのだろうか？ ダイナマイトで吹き飛ばす？ 銃で撃ち殺す？ どうするのだろうか？ 答えは、彼にザムザムの水を飲ませることだ。そして、沐浴させ、モスクの中に入らせるのだ。そうすれば、悔い改め、正しい道に再び向かうだろう。その子供がそれらのことを為した時に、彼は立ち戻るのだ。「あなたのことに従います。あなたを敬います」と言いながら。